

No.	16-3-1	場所	豊丘村 市の沢川	次世代への継承キーワード
名称	市の沢川の氾濫で流木に埋まった家			災害現象理解
災害現象	家屋の被災			河川 市の沢川
補足事項				支流

諏訪市 岡谷市 辰野町 箕輪町 南箕輪村 伊那市 高遠町 長谷村 宮田村 駒ヶ根市 飯島町 中川村 大鹿村 松川町 高森町 豊丘村 喬木村 上村 飯田市 南信濃村 清内路村 阿智村 浪合村 平谷村 下條村 阿南町 売木村 天龍村

**概要**

本来は梅雨の盛りのはずだが、田植えどころか水田の代かきもできないほど、春先からの少雨で水枯れの状態が続いた1961年（昭和36年）6月。ところが、23日夜から降り出した雨は「お湿り」どころか徐々に勢いを増し、下伊那郡豊丘村でも雨水を吸い込んだ山肌の土砂が部分的に大きな被害をもたらした。

中でも、県道伊那生田飯田線から4キロほど東側の山あいにあった河野地区の二丁集落では、27日午後の山崩れをきっかけに電灯が消え、村からの情報も途絶えた。土砂交じりで濁流と化した間沢川は、一晩の間に農地を根こそぎ飲み込み、川べりの幹線道路を全てえぐり取ってしまった。

●被害状況の記録：新聞社掲載

天竜川の伴野堤防が決壊、伴野から小園にかけて約十七戸の家屋が流失、一面の水田は泥海と化し、三十日になっても水は減らず、手のほどこしようがない。なお同村で集中的に被害のあったのはアブ川水域で家屋十戸の埋没、流失一戸、寺沢川水域で埋没六戸と流失一戸、市ノ沢川で流失一戸と冠水十戸など。

（「南信州新聞」掲載記事より）

**記録**



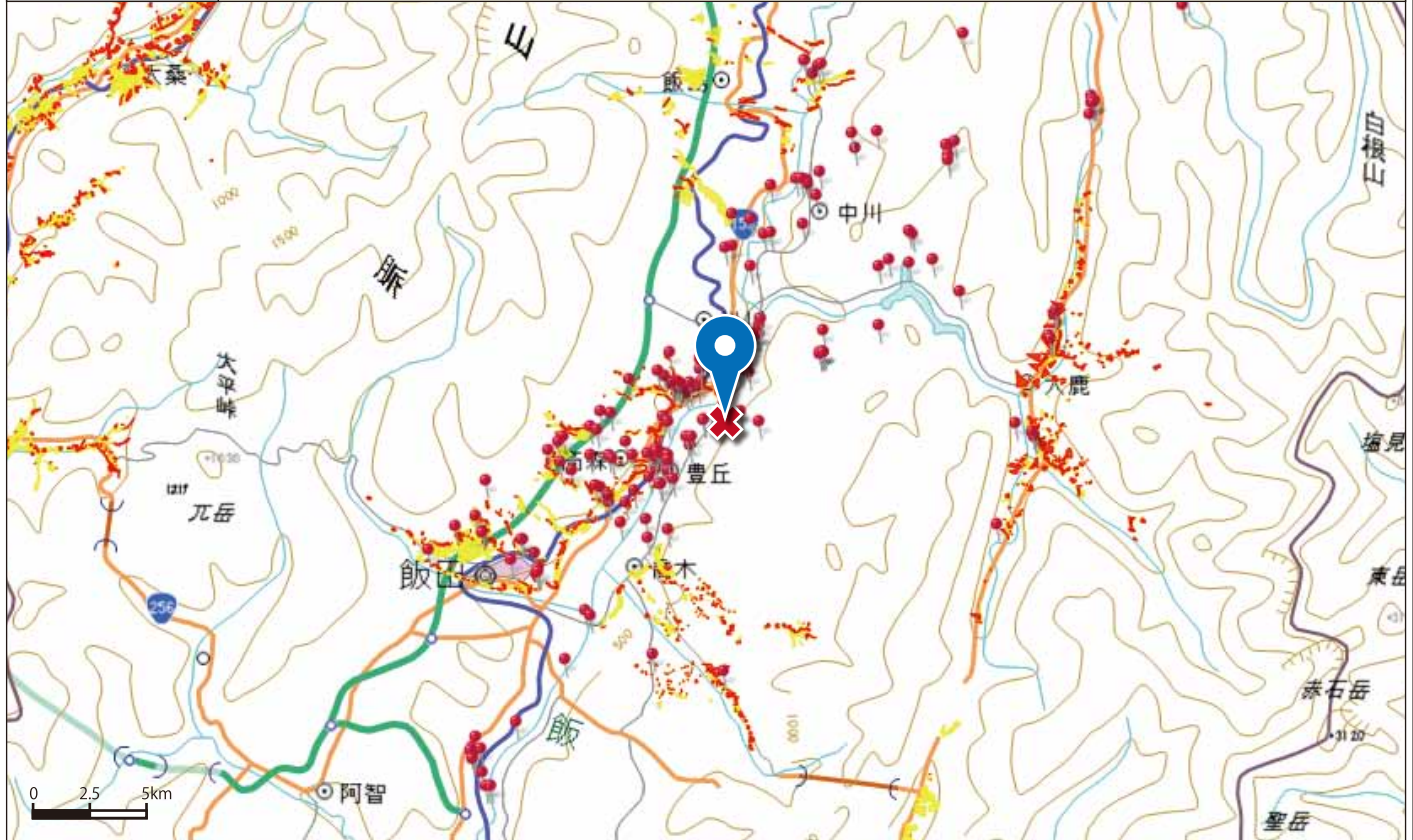
市の沢川の氾濫で流木に埋まった家屋

出典	「南信州新聞」掲載記事		
備考			

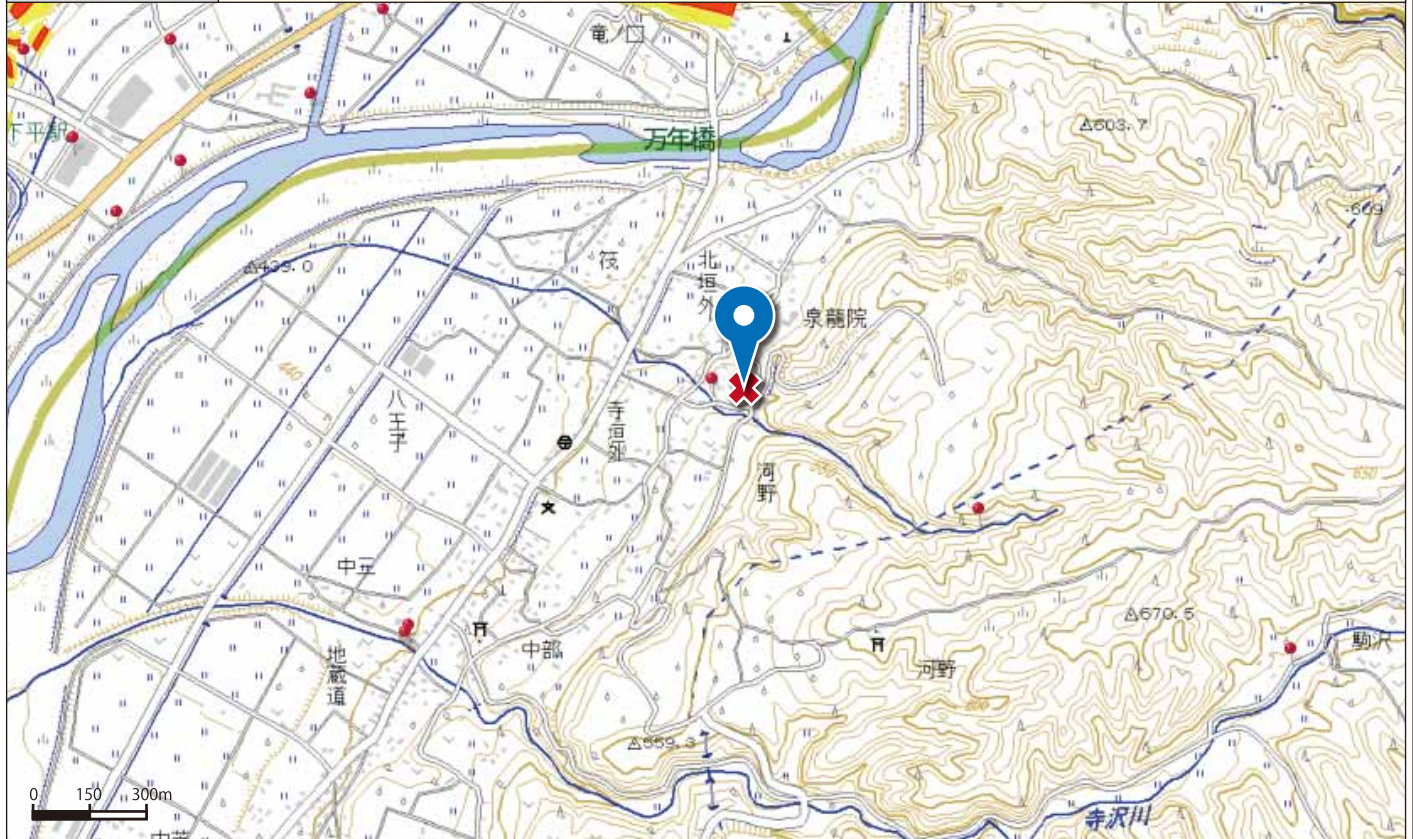
No.	16-3-1	場所	豊丘村 市の沢川	緯度	35.567151
-----	--------	----	----------	----	-----------

名称	市の沢川の氾濫で流木に埋まった家	経度	137.914757
----	------------------	----	------------

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通称：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。